

6坪の裏庭でジャングル栽培

我が家では、4年前マンションに移り住んで以来、自然農法による立体的に作る野菜のジャングル栽培を実施しています。連日の猛暑の中で、野菜の病気も害虫の被害もなく、また雑草が生えない栽培の方法を紹介します。



かみじょう しげみ
上條 茂美さん
(愛知県名古屋市)
自然農法暦 4年
栽培面積(畑) 6坪



わずか6坪の裏庭ながら地床で約20種類、袋栽培で3種類の野菜を栽培しています。地床栽培は、通路(畝と畝の間)に赤玉土、腐葉土、黒土などと、公園等で集めた落葉、生ごみの発酵肥料をすき込みます。栽培の前に発酵を終えた通路の土をうねにかぶせてうねを整えます。

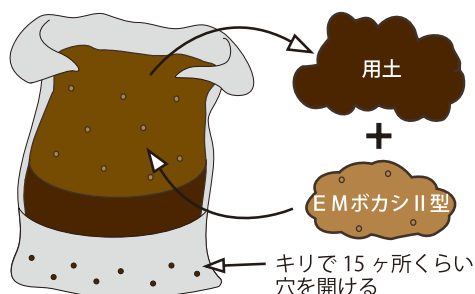
ポイントは空間を野菜で埋め尽くすことで、草がほとんど生えなくなり、猛暑でも土の水分が安定して病害虫の被害が全くありません。EMボカシ、EM活性液、EMセラミックスを活用することもポイントだと思っています。

袋栽培の土は次のようにしています。

①ゴボウの土は、ポット用有機培土((株)EM研究所)を袋ごと使います。用土の半分を取り出しEMボカシⅡ型50gを混ぜて袋に戻し、EM活性液の100倍希釈液をかけて発酵させます。およそ2週間後に種を播きます。

②カボチャ、サツマイモは、ゴボウ栽培を終えた用土を畑の通路で生ごみ発酵肥料(夏1:1、冬10:3)と混ぜて発酵させたものを使用しています。

袋栽培は、狭い菜園でも手軽にでき、持ち運びが楽で、足をぶつけても痛くないところがいいです。



ゴボウ→



←サツマイモ



カボチャの袋栽培
ツルを壁に這わせて省スペース化

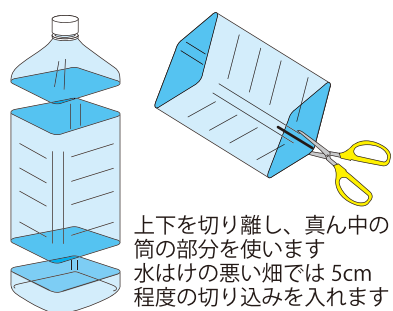


ペットボトルを利用した冬越し野菜栽培！

冬越しの野菜は温度の確保が重要なポイントです。また、豆類は発芽時の鳥害対策も重要です。ペットボトルを利用すれば一石二鳥です。

エンドウマメ・ソラマメ栽培での活用法

- ①四角い2 L ペットボトルの底部と上部（肩口）を切り、筒状にします。水はけの悪い畑では排水のために筒に縦5 cm の切り込みを入れます。
- ②エンドウマメやソラマメの種をまき、①をかぶせるようにして、動かないように5 cm 程度埋め込みます。
- ③上からクン炭（ない場合はモミガラ）を厚さ1 cm 程度になるように入れ、後は発芽を待つだけです。
- ④発芽しても鳥は中には入れませんので、食べられる心配もなく、保温効果があるので種をまくのが遅れても確実に育ちます。鳥が心配な場合は、防鳥糸を張れば鳥除けにもなりますし、ペットボトルを固定することができるので一石二鳥です。
- ⑤暖かくなり、エンドウマメやソラマメが勢いよく伸びてきたら、ペットボトルを外します。



なかの ひでのり
中野 秀則さん

（愛媛県今治市）

自然農法暦 10 年
栽培面積（畑） 16 a

冬越し春採りダイコン栽培での活用例

- ①焼酎（4～5 L）のペットボトルの底部を切り取ります。
- ②春採りダイコンの種をまき、①をかぶせて5 cm 程度埋め込んで、発芽を待つだけです。
- ③風が強い地域では、棒を挿して持ち手と結んでおくと飛ばされません。
- ④暖かくなったら、ペットボトルを外して間引きます。ホットキャップのように他の作物でも使えます。



コツ・アイディア・ワザ 大募集！

このコーナーでは、菜園やプランター栽培をされている方々から、おいしい野菜を育てるコツ、たくさん穫るコツ、病害虫獣対策、簡単作業など、家庭菜園から生まれる様々なワザやアイディアを募集しています。簡単な内容に写真を添えてお送り下さい。採用された方には粗品を進呈します。

◆宛先◆

470-2211 愛知県知多郡阿久比町草木峯畑 75
公益財団法人自然農法国際研究開発センター
普及部 技術普及課
メールの場合は kanie@infrc.or.jp まで